# GitHub Universe：　もっとつながるための新機能を発表

約10年前、GitHubは共同でコードを編集する開発者のための場所として創られました。 現在も世界中の何百万人もの人々がGitHubのプラットフォーム を使ってビジネスを作り上げ、お互いに学び合いながら、長期に渡り使われ続けるようなツールを開発しています。それは、好奇心と創造性にあふれた開発者が、GitHubという共に協力し合える場所を得ることによって斬新でインパクトのあることを実現している証とも言えます。

2017年のGitHub Universeでは、GitHubにおける過去9年間の経験と6億ものコミットがあるからこそ提供できる新機能をリリースします。これら新機能は、世界最大のオープンソースデータ活用が実現する、よりよいコラボレーション環境を提供するための最初の一歩となるでしょう。

GitHub Universeのライブストリーミングを見る（<https://githubuniverse.com/watch>）

## Dependency graphとセキュリティアラートでコードを保護

GitHub上には何百万というオープンソースプロジェクトが存在しています。ソフトウェアを開発する場合、あなたが書いているコードはこういったプロジェクトに依存することになります。今回リリースする新機能では、複雑さを増す依存関係をGitHubのデータを活用することで管理し、パブリックおよび[プライベートリポジトリ](https://github.com/github/blog-posts/blob/94bf5c1a3c8f0ca5bd7c1b68d19f6a3d9d26b258/posts/documentation)においても、コードをより安全に保つことができるようになります。

Dependency graph

新機能Dependency graphでは、あなたのコードがどのプロジェクトに依存しているのか、または、どのプロジェクトであなたのコードが利用されているかを把握できます。今後は、リポジトリを離れなくとも、あなたのコードが依存しているパッケージやアプリケーションを閲覧することができます。Dependency graphは現在RubyとJavaScriptをサポートしており、近日中にPythonにも対応する予定です。

Dependency graphの詳細を見る

セキュリティアラート（近日リリース予定）

Dependency graphは、ある特定のコードにおけるセキュリティ脆弱性が発表されると、そのコードがどのプロジェクトで利用されているかを追跡できます。脆弱性が検知されると、該当するコードを利用しているユーザーに通知し、対処方法が公開されている場合はGitHub コミュニティで共有されているセキュリティ修正方法を提案します。

GitHubはセキュリティを重要視しており、セキュリティアラートはコードをセキュアに保つのに役立つツール群の最初のひとつとなります。これらツールをより良いものにしていくためには、我々のAPIを使って連携サービスを作っている皆様の協力が必要です。みなさんのコラボレーションをお待ちしております。

[security alertsgif placeholder]

### 新しいプロジェクトを見つけるためのニュースフィードとExplore

GitHubには2500万件を超えるアクティブなリポジトリがあり、プロジェクトやコミュニティに参加する様々な方法があります。GitHubはニュースフィードとExploreの機能を改善し、一人一人に合ったプロジェクトをよりスムーズに見つけられるようにしました。

### ニュースフィード

機能改善したニュースフィードではプロジェクトやコミュニティを新たに発見することが容易になり、GitHub利用の世界がかつてないほどに広がります。

ダッシュボード上の「 Discover repositories（リポジトリを探す）」フィードでは、おすすめのオープンソースプロジェクトを表示します。これらのリコメンデーションは、フォローしているユーザー、スターをつけたプロジェクト、そしてGitHub上の人気トレンドにもとづき、各ユーザーに合わせて表示されます。表示内容はユーザーが制御することも可能です。Python関係のプロジェクトにもっと関わりたいという時には、プロジェクト管理者をフォローし、[Django](https://github.com/django/django) や[pandas](https://github.com/pandas-dev/pandas)といったプロジェクトにスターをつければ、よく似たプロジェクトがフィードに表示されるようになります。ダッシュボード上の「Browse activity（アクティビティをブラウズする）」フィードでは、引き続き、あなたがフォローしているプロジェクトやユーザーのアップデートが表示されます。

[news feed gif placeholder]

[新しいプロジェクトを探す](https://github.com/dashboard/discover)

### Explore

今回のリリースにおいてExplore機能の全面的な見直しを行いました。これにより、開発者は世界中のGitHubコントリビューターが選んだCollections、Topics、リソースなどを、これまでよりも簡単に発見できます。

CollectionsはGitHubコミュニティより任意にピックアップされたリソースです。Collectionsを閲覧してあなたにとって興味のある分野を学んでみましょう。たとえば機械学習やゲーム開発などについて閲覧できます。さらに深く内容を追求したい場合には、Collectionsの中からリポジトリやOrganization（組織）を発見することもできます。

Topicsページでは、テクノロジー、言語、フレームワークやプラットフォームに合わせたプロジェクトを探すことができます。これはGitHubコミュニティのTopicsタグを活用した機能です。Topicsページでは、例えばAndroid（<https://github.com/topics/android>）やCSS（<https://github.com/topics/css>）に関するプロジェクトを探したり、パブリックリポジトリ（<https://github.com/github/explore>）にTopicsページの修正を提案することなどができます。

[Explore gif placeholder]

[Exploreを始める](https://github.com/explore)

## さらにつながる新機能

ほかにも、GitHub Enterpriseのお客さま向けのプレミアムサポートや、コミュニティフォーラム、Marketplaceのトライアルプログラム、チームディスカッションツールもリリースする予定です。

[その他の新機能を確認する](https://github.com/updates)

## これはまだ始まりにすぎません

これら新機能は、GitHubが保有するデータを活用し、さまざまな機会やリコメンデーションでワークフローを補完するための最初の一歩にすぎません。GitHubのデータを活用することで、ユーザーが興味深いプロジェクトを見つけ、より良いコードを書き、より早くバグを修正できるように、そしてGitHubのユーザーエクスペリエンスがかけがえのないものなるようにすることがGitHubのビジョンです。

GitHubは、最適なツールを開発者が利用し、より素晴らしいソフトウェアを開発できる環境を実現したいと考えています。

今回の新機能は、10年間にわたるオープンソースプロジェクトに参加した人々のコラボレーションによって実現したものです。ユーザーがこれまでに作成した膨大な数のコミットが、GitHubの未来を作り上げています。これまでのあらゆるコラボレーションに感謝します。

GitHubにおけるこれまでのコラボレーションの履歴は、以下にあるコミュニティ年間データでご覧いただけます。

[Octoverseを見る](https://octoverse.github.com/)

原文（英語）：

ブログポストのURLを掲載予定  
   
   
お問い合わせ先：  
GitHub Japan 広報担当  
株式会社旭エージェンシー　（担当：高津/牟田/高木）  
〒107-6033 [東京都港区赤坂1-12-32](https://maps.google.com/?q=%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD%E6%B8%AF%E5%8C%BA%E8%B5%A4%E5%9D%821-12-32&entry=gmail&source=g)  
Tel: 03-5574-7890 Fax: 03-5574-7887 E-mail: [githubjapan\_pr@asahi-ag.co.jp](mailto:githubjapan_pr@asahi-ag.co.jp)